

J1 リーグ所属時と J2 リーグ降格時の観戦動機の比較

ーファンクラブ非会員を対象にー

木村 祐貴 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 吉田 政幸

キーワード：降格、観戦動機、ファンクラブ非会員、Jリーグ

1. 緒言

入れ替え制度に関する研究はこれまでに実施されてきたが、昇格の影響を説明したものが多く (岡田, 2009 ; 吉田・小笠原, 2010)、降格の影響に着目した研究は決して多くない (安, 2008)。そこで、本研究は、J2 リーグへの降格が観戦者の心理面に及ぼす影響を検討するため、特にクラブへの愛着が高くない非会員に焦点を当て (河内, 2010)、J1 リーグ所属時と J2 リーグ降格時の間で非会員の観戦動機を比較検討することを目的とする。

2. 研究方法

本調査は J リーグスタジアム観戦者調査 2010 および 2011 の機会を利用し、J1 リーグから J2 リーグへの降格を経験したクラブの試合観戦者を対象とした。調査項目として、観戦者の基本属性、行動的特性、観戦動機に関する質問項目 (12 項目) を J リーグスタジアム観戦者調査から援用した。

調査は、2010、2011 シーズンにそれぞれ 1 回ずつ実施し、データを収集した ($n_{2010} = 497$; $n_{2011} = 494$)。 (ファンクラブ非会員 : $n_{2010} = 232$; $n_{2011} = 172$)。分析では SPSS15.0 を使い、観戦動機をシーズン間で比較検討するため多変量分散分析を行った。

3. 結果および考察

J2 リーグに降格した 2011 シーズンは、サッカーの質が低下したことにより、クラブの愛着、

サッカーへの愛着が低下した (表 1)。一方で、2011 シーズンは震災の支援活動の影響で、地域貢献活動の評価が高い結果となった (表 1)。以上の結果から、降格に伴い、競技的な要素 (クラブ、サッカー) に関する動機は低下するものの、地域貢献活動のような非競技的要素に関する動機は、降格の影響を受けないことが明らかとなった。

表 1 多変量分散分析
(シーズン間における 12 要因の比較)

要因	2010	2011	F 値
クラブの成績	1.76	2.15	12.28**
周囲からの勧誘	3.05	3.28	1.77
地元クラブ	3.69	3.65	0.07
スケジュール	3.76	3.83	0.25
クラブへの愛着	4.19	3.85	6.44*
サッカーへの愛着	4.41	4.11	9.49**
選手への愛着	3.5	3.65	1.29
話題性	2.17	2.38	2.94
チケット	2.52	2.64	0.47
対戦相手	2.58	3.68	63.78**
クラブの地域貢献活動	2.74	3.01	4.59*
娯楽性	3.83	3.88	0.19

Wilks のラムダ=76, F 値(12,325)=8.58, $p < .01$

* $p < .05$; ** $p < .01$

4. 結論

本研究は、降格による観戦動機を比較検討するという数少ない研究であることから、学術的に果たす貢献は大きいものと考えられる。他クラブチームでも同様の結果が出るのか、継続的に調査・研究が求められる。

【主な引用参考文献】

河内貴文 (2010) J リーグチームのファンクラブ会員の観戦行動に関する研究. びわこ成蹊スポーツ大学卒業論文.